



リゾ・ライフ通信

vol.13
2026. 05



株式会社Saving Lives
<https://savinglives.co.jp>



住宅型有料老人ホーム
リゾ・ライフ

〒349-1155
埼玉県加須市砂原287-1
TEL 0480-72-8787 / FAX 0480-72-8789

NEWS LETTER

春暖の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。4月を迎え、桜の花が咲き誇るこの季節、新たな出発と希望に満ちた時期となりました。リゾライフの駐車場の桜も美しく咲いております。

リゾライフでは、4月1日付けで施設長の高橋亜紀が退職し、後任として本荘かづみに交代いたしました。本荘は1年前までリゾライフの施設長を務めており、施設の状況をよく把握しております。今後の活躍にどうぞご期待ください。

毎年、桜の咲く季節になると、ある漢詩の一節を思い出します。



株式会社Saving Lives
代表取締役 小林浩一

年年歳歳花相似たり 来る年も来る年も、花は変わらぬ姿で咲くが、
歳歳年年人同じからず 年ごとに、それを見ている人は移り変わる。

誰もが1つずつ年を重ねていく、人生の無常さを感じさせられる詩です。この漢詩の続きは次の通りです。

言を穿す全盛の紅顔子 お聞きなさい、今を盛りのお若い方々よ。
心に憐れむべし半死の白頭翁 半死の白髪の老人の姿は実に憐れむべきものだ。
伊れ昔紅顔の美少年 だがこの老人も昔は紅顔の美少年だったのだよ。

この詩は高校1年生の漢文の授業で暗記させられたのですが、当時は自分が白頭翁になることなど、まったく想像もしていませんでした。

「時間は有限であり、人は皆平等に老いゆくものである」ことを自覚し、「今」を全力で生き、「老い」という変化を受け入れ、「他者への共感」を大切にしていきたいと思えます。



お花見

施設の桜は、クビアカカミキリの被害により1本が枯れてしまいましたが、残る2本は今年も懸命に花を咲かせてくれました。2階の窓から「咲いたね」「きれいだね」と声をかけ合いながら見上げる桜は、どこか愛おしく、春の訪れを優しく感じさせてくれました。限られた時期でも変わらず咲く桜の姿に、皆さまの表情もやわらぎ、穏やかで心温まる時間となりました。



民謡・民芸発表会

堀越奈津美さんとゆかいな仲間たち（総勢7名）による民謡・民芸の公演が開催されました。力強く美しい歌声と温かい語りにもまれ、会場には自然と笑顔と拍手があふれました。最後は「草津節」に合わせて湯もみを体験。普段は肩の痛みを抱えている方も、そのひときは痛みを忘れ、歌いながら一緒に手を動かす場面もあり、心が通い合う温かな時間となりました。皆さまの笑顔がとても印象的で、忘れられないひとときとなりました。心より感謝申し上げます。次回、7月23日(木)14:00～慰問して頂けることになりました。



レクリエーションレポート

バレンタインデーには「あなたのハートを狙い撃ち」ゲームを行いました。真剣な表情で取り組まれる姿や、思わず笑みがこぼれる場面など、会場は和やかな空気に包まれました。ゲームの後のおやつタイムでは、チョコレートなどを囲みながら自然と会話も弾み、普段あまりお菓子を召し上がらない方も笑顔で手に取られる様子が見られました。楽しい時間が心も体もほぐしてくれる、そんなひとときとなりました。



職員研修

3月23日、ユニ・チャームの担当者様をお招きし、おむつの正しい装着方法についての研修（基本編）を行いました。日頃行っているケアではありますが、透明のデモ人形を使用することで、おむつの内側の状態までしっかり確認することができ、「どのように装着すれば漏れを防げるのか」など、改めて理解を深める貴重な機会となりました。今回の学びを日々のケアに活かし、ご利用者様がより快適に、安心して過ごしていただけるよう努めてまいります。

